

# 農と食から考える自律型市民への第一章

～ グローバル化に負けない食業選択の自由と食卓の自治～

グローバリズムをそのままてんこ盛りにした食卓や弁当を前にして、“なんとなく不安”に駆られ、怯える日常から、実情を知り、自分で判断し、食の、さらに暮らしや命の安全保障を獲得していく。そんな自律型市民としての第一楽章を奏でたいと思います。

## 日程

平成21年11月21日(土)13:00～11月23日(月・祝)13:00

## 会場

講 義：池田町開発センター 池田町稲荷35-4 0778-44-6000  
 森林温泉「みらくる亭」 福井市市波町38-2 0776-96-4141  
 夕食・宿泊：ファームハウス・コムニタ 池田町土合皿尾 0778-44-7744

## スケジュール

1日目 11/21(土)	13:00 14:00	ファームハウスコムニタ集合・移動(森林温泉「みらくる亭」へ) 土の課(講義) 「『緑提灯』運動発案のねらいと広がり」 (丸山清明氏) 農業と食卓を結んだもうひとつの“食業選択肢”はどこから生まれたのか。発案者・丸山さんの講義と、受け止められたみらくる亭さんからもひとこといただきます。
	17:00	人の課「入浴・夕食交流会」 (「緑提灯」参加店・みらくる亭さんのメニューで楽習します。)
2日目 11/22(日)	9:30	風の課(講義) 「食卓からの選択は、農業・農村にどんな風を送るのか」 (大野和興氏) 食べ物を作る現場を守るには、食べる側の動き、変革が求められているようです。国内外の農の現場を見つづけているジャーナリストの視点から、新たな動きと食の未来、暮らしの未来を講義していただきます。
	12:00	昼食
	13:00	シンポジウム&ディスカッション 「農と食から考える、これからの暮らしと社会参画」
	18:30	人の課「夕食交流会」
3日目 11/23(祝)	9:30	風の課(講義) 「『食大乱の時代』とは、どのような時代か」 (大野和興氏) 食大乱とは、社会の、暮らしの、生き方の……「大乱」であるようです。自著『食の大乱の時代』で世に問いたかったことは？ 政権交代は農業・農村にどんな“新風”吹かせるか。民主党政権の舵取りを読む。

【丸山 清明(まるやま きよあき)さんのプロフィール】

(独)農業・食品産業技術総合研究機構理事。中央農業総合研究センター所長。北陸農業試験場、農業技術研究所、農業研究センターで稲育種に従事。農林水産省研究開発課長、研究総務官等を歴任。

就任した北海道で「緑提灯」のアイデアを思いつき、北海道小樽市で第1号の「緑提灯」が掲げられ、現在では約2,000店にまで普及している。

【大野 和興(おおの かずおき)さんのプロフィール】

農業ジャーナリスト

愛媛県生まれ。日本とアジアの村の現場から、開発やグローバル化に対峙する立場で発信している。アジア農民交流センター世話人、「脱WTO草の根キャンペーン実行委員会」事務局長などを務める。

著書に『日本の農業を考える』(岩波書店・ジュニア親書)、『百姓が時代を造る』(七つ森書館)、『食大乱の時代 貧しさの連鎖の中の食』(七つ森書館)ほか。

参加資格はございません。どなたでもご参加いただけます。

受講料および宿泊料

受講料は15,000円です。

宿泊料は、2泊3日・6食(朝食2回、昼食2回、夕食2回)付きで、17,000円です。

(2泊3日の全カリキュラムの参加を基本とします。ただし、都合により全行程参加が不可能な方、宿泊などを希望されない方は事務局までご相談ください。)

お申込み方法:受講を希望される方は、下記の申込書をFAXでお申し込みください。

11月学期FAX申込書

ご住所(〒.....)

お名前(.....) 連絡先(携帯・TEL.....)

池田町への来町(電車/自家用車)\*で困ってください。

(電車の場合は、スタッフが送迎します。後日、集合場所などご連絡します。)

ご質問、ご要望などありましたらご記入ください。

.....  
.....  
.....

お問い合わせ先

910-2524 福井県今立郡池田町土合皿尾2-27-1

日本農村カデザイン大学 事務局 担当:清水、佐野、澤崎まで

TEL 090-2124-8100 FAX 0778-44-9088 e-mail ikeda@c-nord.com